

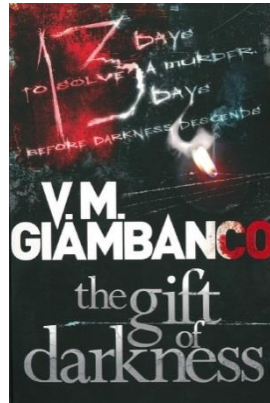
集英社翻訳書(フィクション)隠し玉2015

<<ミステリー作品>>

【5月刊】

『闇からの贈り物』上・下
V・M・ジャンバンコ／著
谷垣暁美／訳

弁護士一家が惨殺され、現場には「Thirteen Days」の文字が。やがて容疑者として浮かぶ男と、男の弁護士、そして事件の被害者らはある悲惨な過去を共有していた。自らダークな面を持つ女性刑事マディソンが真相を追う。

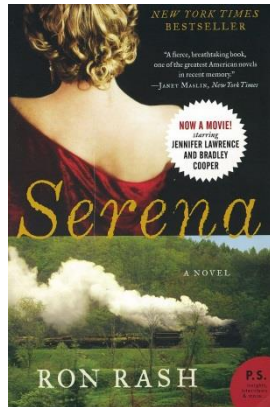


【6月刊】

『セリーナ』
ロン・ラッシュ／著
峯村利哉／訳

大恐慌後のアメリカ、雄大なアパラチア山脈を舞台に、新妻セリーナが我欲と支配欲に取り憑かれ、稀代の悪女へと変貌していく様を描いた迫真の文芸大作。ジェニファー・ローレンス主演の同名映画原作！

※編集は集英社クリエイティブになります。



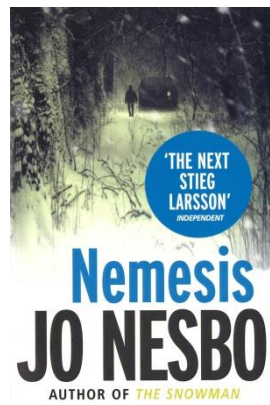
『ゲルマニア』ハラルト・ギルバース／著 酒寄進一／訳
※ビブリオバトル資料をご参照ください。

【7月刊】

『ネメシス(仮)』上・下
ジョー・ネスボ／著
戸田裕之／訳

ハリー・ホーレ・シリーズ第4作で、エドガー賞長編賞ノミネート作品。銀行強盗事件の裏に隠れた複雑な事情。そして捜査に当たるハリーには、元恋人殺害の容疑が降りかかってきた…。

※編集は集英社クリエイティブになります。

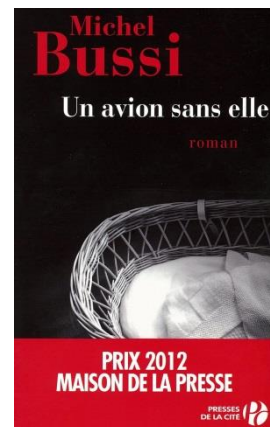


【8月刊】

『彼女のいない飛行機(仮)』
ミシェル・ビュッシ／著
平岡敦／訳

エアバス墜落事故で唯一生き残った赤ん坊。そして、その子を自分のものだと主張する二つの家族と、事件の真相を追う探偵をめぐって、謎が幾重にも絡み合う。フランス・ミステリー界に新たなベストセラーが登場！

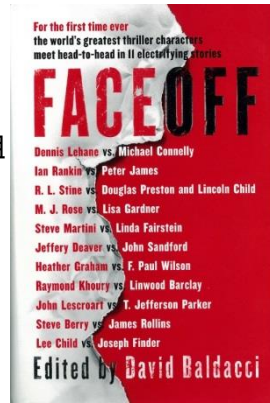
※編集は集英社クリエイティブになります。



【9月刊】

『フェイスオフ 対決(仮)』
ディヴィッド・バルダッチ／編
田口俊樹／訳

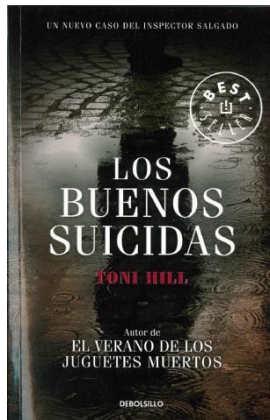
ベストセラー作家22名が二人一組となってタッグを組んで書いた短編11編を収録。しかも、各作家の人気キャラクターが登場する、夢の競演アンソロジー。マイクル・コナリー×デニス・ルヘイン、ジェフリー・ディーヴァー×ジョン・サンフォードなど。編者ディヴィッド・バルダッチが各編に添えた解説、サイドストーリーも興味深い。



【10月刊】

『良き自殺(仮)』
トニ・ヒル／著
宮崎真紀／訳

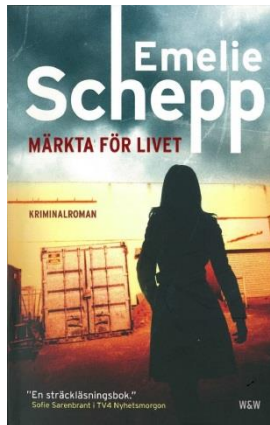
スペイン発ベストセラー『壊れた玩具たちの季節』のシリーズ第2弾。カタルーニャ州警察のエクトル・サルガド警部が相次ぐ自殺の捜査に乗り出す。一方、行方不明になっているエクトルの元妻の行方を追ううちに意外な事実が。



【11月刊】

『Ker 死の神(仮)』
エミリー・シェップ／著
ヘレンハルメ美穂／訳

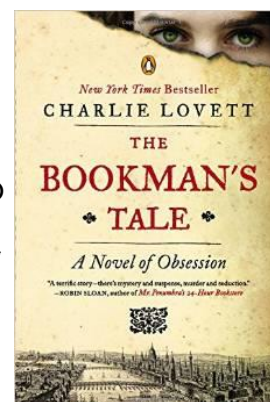
自費出版が評判となり、大手出版社から発売されたスウェーデンの話題作。難民支援センター所長の死に端を発する数々の殺人。捜査に当たる女性刑事ジョアナの首にタトゥーされたKerが意味するものは？ キャラクターが秀逸。



【古書の印章(仮)』

チャーリー・ラヴェット／著
最所篤子／訳

イギリスに移住した古書商ピーターは、立ち寄った古書店で亡き妻の肖像画を見つける。だがその絵は明らかにヴィクトリア朝のものであった。調べるにつれ、シェイクスピアに関連した一冊の古書が浮上、さらなる謎を呼び起こす…。

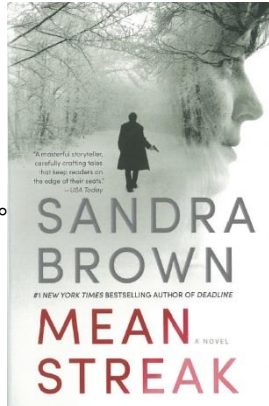


【12月刊】

『MEAN STREAK(仮)』

サンドラ・ブラウン／著
林 啓恵／訳

「サスペンスの女王」の異名をとる
ニューヨークタイムズ紙ミリオンセ
ラー作家、サンドラ・ブラウンの新作。
頭にケガを負い、謎の男の小屋で
目を覚ました女性小児科医。ケガの
原因は？ 謎の男の正体は？ 人
気のページターナー。

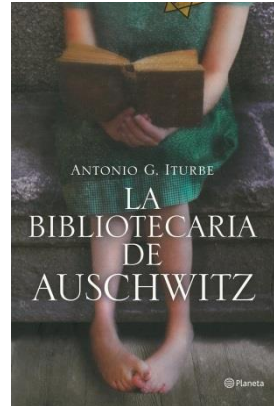


【時期未定】

『アウシュヴィッツの図書館係』

アントニオ・G・イトウルベ／著
小原京子／訳

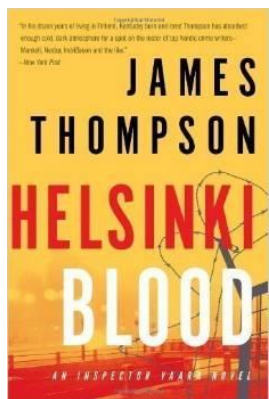
秘密の図書館を託された幼い女
の子が、ナチスの強制収容所とい
う地獄のなかで、命を賭けて本を
守る。懸命なその姿を通じて、本
が与える“生きる力”をもう一度信
じたくなる、実話に基づいた感涙
必至の物語！
※編集は集英社クリエイティブになります。



『血の極点(仮)』

ジェームズ・トンプソン／著
高里ひろ／訳

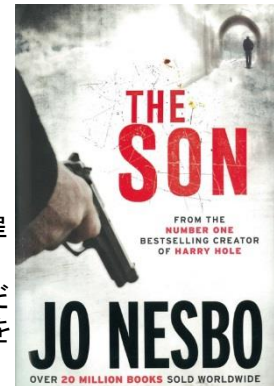
妻に家出されたカリ・ヴァーラ警部
は、エストニア人の娘を探そう依
頼される一方、自身も命を脅かさ
れることに。娘を人身売買から救
出できるのか？ 脅迫者の正体
は？ 妻と子は帰ってくるのか？ フィ
ンランド発ノワールシリーズ、作者
急死による最終巻。



『ザ・サン(仮題)』上・下

ジョー・ネスボ／著
戸田裕之／訳

2014年刊のノンシリーズ作。ワー
ナーブラザーズが映画化権取得。
ソニーは自殺した汚職警察官の息
子。ヘロインと引き換えに他人の罪
をかぶり、刑務所に12年間入って
いる。だが、父は実は殺されたのだ
と知り、クスリを絶って脱獄、復讐を
始めた...。
※編集は集英社クリエイティブになります。



<<そのほか>>

【2015年秋～】

“ポケットから、世界の文学の旅へ。”

集英社文庫 ヘリテージシリーズ『ポケットマスターピース』全13巻刊行スタート！

- ・主に18世紀末～20世紀の世界の文豪の作品の精髓をコンパクトに集約した入門書を文庫版でお届け
- ・当該分野第一人者による斬新な編集、小説実作者による長篇のダイジェスト・翻案・翻訳
- ・埋もれた名作の新訳多数。各巻ごとに、最新研究をふまえた略年譜と文献の案内

『カフカ』多和田葉子=編

変身/お父さんは心配なんだよ/訴訟/火夫/流刑地にて ほか

『ゲーテ』大宮勸一郎=編

若きヴェルターの悩み/ファウスト第二部(抄)/親和力

『バルザック』野崎敏=編

ゴリオ爺さん/幻滅(抄)/浮かれ女盛衰記第四部

『トルストイ』加賀乙彦=編

戦争と平和(ダイジェスト+抄訳)/一八五五年五月のセヴァストーポリ/セルギー神父/ハジ・ムラート/舞踏会のあとで ほか

『ディケンズ』辻原登=編

骨董屋(抄)/デイヴィット・コッパフィールド(抄)/我らが共通の友(抄)

『マーク・トウェイン』柴田元幸=編

トム・ソーヤの冒険/ハックルベリー・フィンの冒険(抄)/阿呆たれウィルソン/赤毛布外遊記(抄)/戦争の祈り ほか

『フローベール』堀江敏幸=編

ボヴァリー夫人(抄)/十一月/サランボー(抄)/ブヴァールとペキュシェ(抄)/書簡選 ほか

『ステューヴンソン』辻原登=編

ジーキル博士とハイド氏/嘘の顛末/ファレサーの浜/死体泥棒/驢馬との旅 ほか

『E・A・ポー』桜庭一樹+鴻巣友季子=編

メルツェルの将棋差し(翻案)/アッシャー家の崩壊/アーサー・ゴードン・ピムの冒険/お前が犯人だ/黒猫 ほか

『ドストエフスキー』沼野充義=編

白夜/未成年(抄)/ステパンチコヴォ村とその住人(抄)/書簡でたどるドストエフスキーの生活/

四大長篇読みどころ「カラマーゾフの兄弟」「罪と罰」「悪霊」「白痴」

『ルイス・キャロル』鴻巣友季子=編

子ども部屋のアリス/不思議の国のアリス/鏡の国のアリス/シルヴィーとブルーノ(第一篇・完結篇)/もつれっ話 ほか

『ブロンテ姉妹』桜庭一樹=編

詩選集(エミリー)/ジェイン・エア(シャーロット/抄)/アグネス・グレイ(アン)

『セルバンテス』野谷文昭=編

ドン・キホーテ(抄)

※時期や内容は変更になる場合があります。